

令和2年12月10日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

一般財団法人
北海道国際交流センター

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

- 企画名:** 北海道ユニセフ協会 道東支部 「SDGsとウガンダでのNGO活動」
企画実施概要: 北海道ユニセフ協会より依頼を受け、道東支部の定例会において下記の内容で講話する
- ①企画内容
 - ・アフリカウガンダでの支援活動について
 - ・SDGsについて
 - ②目的 北海道ユニセフ協会、道東支部の定例会において国際協力活動の事例を学ぶことで、今後の活動の発展につなげる。

2 出張者氏名 岡田 朋子

3 依頼元／主催団体名 北海道ユニセフ協会

4 実施日時 2020年11月13日(金) 10:30～12:00

5 実施場所 釧路市市民活動センターわっと(釧路市末広町3丁目1)

6 実施報告
参加人数15名
北海道ユニセフ協会の道東支部の定例会において講話を実施。支部の会員のほか、コープさっぽろのSDGs担当組合員の方などの参加もあり、コープさっぽろでのSDGs活動なども紹介してもらった。会員の方が高齢ということもあり、コロナ禍での開催に少し不安はあったが、感染防止対策を徹底し無事開催することができた。
また機会があれば、勉強会を開催したいという要望もあり今後の連携につなげたい。

7 写真

	
講義の様子	主催者挨拶

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名: 講演会「国際理解」
ワークショップ「ちがいのちがいで考える」

企画実施概要: ①企画内容
【講演】
・ODA事業、NGO相談員制度の紹介
・幣団体事業(N連、JPF事業)の紹介
・「世界一大きな授業」のクイズを使い、世界の教育事情を知る
【ワークショップ】
・「ちがいのちがいで」というカードを使い、世界の教育事情を知る
②対象者および参加人数
講演会: 中学2年生 75人 ワークショップ: 中学2年生 各クラス25人

2 出張者氏名 小笠原 直子

3 依頼元/主催団体名 一関市立一関中学校

4 実施予定日時 講演会: 令和2年11月12日 (木) 14:30 ~ 15:30
ワークショップ(1組): 令和2年11月1 (金) 11:45 ~ 12:45
ワークショップ(2組): 令和2年11月1 (月) 14:30 ~ 15:30
ワークショップ(3組): 令和2年11月1 (火) 14:30 ~ 15:30

5 実施場所 一関市立一関中学校(住所: 岩手県一関市)

6 実施報告
・僕たちの生活が、世界にとっての「基準」ではないことが分かった。
・自分が今普通に送っている生活がどれだけ幸せなのか感じた。
・一人の人として生まれたのは一緒なのに、周りの環境が違うだけで、自分の未来や将来がなくなってしまうかもしれない人がいるのは、あつてはならないと思った。
・同じ人間なのに、生まれた環境の違いで、こんなにもたくさんの差が生まれてしまうんだと思った。いろいろな差をもっと縮めなければならないのでは?と思った。

7 写真



講演では、3クラスが1教室に集まり話を聞いた。

(写真1)



ワークショップではPCの前に2~3人グループとなり、相談員とやりとりをした。

(写真2)

以上

令和3年5月12日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

認定NPO法人IVY

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名: 新庄・最上じもと大学

企画実施概要: ①実施内容
・ODA事業であるIVYの海外事業、NGO相談員制度について紹介
・SDGsの成り立ち、概要
・「豊かさの開発」(開発教育協会発行)ワークショップ実施

②対象者および参加人数
新庄東高等学校 1、2年生21名、教員2名

2 出張者氏名 阿部真理子

3 依頼元／主催団体名 新庄・最上ジモト大学推進コンソーシアム

4 実施予定日時 令和2年11月27日 (金) 13:30～15:30

5 実施場所 学校法人新庄学園 新庄東高等学校(山形県新庄市)

6 実施報告
年間を通して、国際理解に取り組んでいる生徒たちだったので、自分たちが持っている知識も総動員し、活発な話し合いが行われた。
以下、生徒の感想より抜粋
・自分の町だけでなく、地球全体のことに對し、私たちの意見も反映させることが重要だと思っし、意見を自ら発していかないと考えがあっても届かないと感じました。
・私たちが普段目にはしている世界はほんの一部であり、世界の現状を変えていくにはたくさんの人の協力が必要だと思いました。
・自分たちの世代がこれからの地域、日本、地球を守っていかなければいけないということを再確認することが出来て本当に良かった。

7 写真

	
IVYのODA事業の一つ、イラクにおける活動を紹介	今日の講座全体について、感想を述べる高校生

(写真1)

(写真2)

以上

令和2年12月10日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
アイキャン

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名: 石川県立門前高等学校における国際貢献に関する講演

企画実施概要: ①企画内容
門前高等学校の「国際貢献と英語力」についての講義において、共同講師として、NGO職員としての経験に元づいた講演を行った。

②対象者および参加人数

門前高等学校生徒77名(1年生21名、2年生21名、3年生35名)
門前中学校生徒32名(2年生15名、3年生17名)(職員約25名)

2 出張者氏名

雨宮 身佳

3 依頼元/主催団体名

株式会社パデコ 杉山竜一様 / 石川県立門前高等学校

4 実施予定日時

令和2年11月5日 (木) 12時30分 ~ 14時45分

5 実施場所

石川県立門前高等学校 (住所: 石川県輪島市): オンラインでの実施

6 実施報告

国際貢献をする仕事の一つとしてNGOの役割について話し、当団体の活動を事例として取り上げ説明した。本講演の対象が中高生であったため、国際貢献への理解促進のために、まずは講演者が国際協力に関心を持つようになったきっかけについて話し、世界で起きていることに目を向け、自分なりの国際貢献を育てていくことから始めることが国際貢献の第一歩であると説明した。時間制限のため、質疑応答の時間を設けることはできなかったが、生徒からは「まずは自分ができる国際貢献から始めていきたい」との感想をいただいた。

なお本講演では、企画内容の「国際貢献と英語力」に沿うため、講演前半は英語を使い説明し、講演後半は日本語で説明を行なった。

7 写真



企画内容の「国際貢献と英語力」に沿って、使用資料は全て英語で作成し、わかりにくい用語は日本語で補足説明をした。

(写真1)



当校では新型コロナウイルス感染症の影響により海外修学旅行が中止となってしまうため、身近に感じられる講演となるよう写真を多く活用した。

(写真2)

以上

令和2年12月10日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
アイキャン

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名: NGO職員の海外経験や現地における活動に関する講演

企画実施概要: ①企画内容
JICA山梨デスクオンライン座談会にて、NGO職員としてのこれまでの海外経験及び現地における活動について講演を行なった。

②対象者および参加人数
高校生、大学生、若手社会人等(参加人数:15名)

2 出張者氏名 雨宮 身佳

3 依頼元/主催団体名 独立行政法人国際協力機構横浜センター山梨デスク 穂坂ちひろ様

4 実施予定日時 令和2年11月25日 (水) 18時30分 ~ 19時45分

5 実施場所 JICA山梨デスク (住所:山梨県甲府市):オンラインでの実施

6 実施報告
NGO職員になるまでの進路選択や海外キャリアの築き方について話し、国際社会におけるNGOの役割を当団体の活動例を用いて説明し、自分ができる国際協力の在り方について説明した。参加者からは、主に大学選択をする上で重視した点に関する質問が挙げられ、国際協力への関心度の高さをうかがうことができた。また国際協力へ取り組むことのハードルを下げるために、現地の物を身に着けることや募金等を通じた国際協力の在り方について説明したところ、自分なりに継続できる国際協力の在り方に対して共感を持っていただくことができ、参加者の国際協力に関する理解へ貢献することができた。

7 写真



出張者の海外経験について話したところ、国や地域の歴史的背景を知ることも国際協力の一步になる、と参加者から感想をいただいた。

(写真1)



参加者からは、大学や大学院での研究内容に関する質問も多く、研究内容とNGOの仕事の繋げ方について説明した。

(写真2)

以上

令和3年5月12日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

公益社団法人
日本国際民間協力会

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

- 企画名:** 第8回清水寺で世界を語る
- 企画実施概要:** ①実施内容:世界遺産でもある清水寺にて、世界で起きている社会問題について考えるイベント。毎回、SDGsのゴールから、テーマを選び開催している。NGO相談員のブースを出展する。
②対象者および参加人数:一般市民、ブース来場者約50人

2 出張者氏名

大豊 盛重

3 依頼元/主催団体名

清水寺で世界を語る実行委員会

4 実施予定日時

令和2年11月3日 (火) 10:00~16:00

5 実施場所

会場名(住所:清水寺(京都府京都市))

6 実施報告

シリア難民問題について、日本のNGOがどのような活動を行っているか知る機会となった。

新型コロナウイルス感染症の対策について、アフリカで日本のNGOがどのような活動をしているか知る機会となった。

世界の公衆衛生の問題について、NGOの地道な努力が求められていることが分かった。

7 写真



相談員ブースの様子。シリア難民の女性たちが作った手芸品なども合わせて展示した。



ブースを訪問者にシリア難民問題や途上国での公衆衛生改善活動について解説する大豊相談員。

(写真1)

(写真2)

以上

令和2年11月6日

外務省国際協力局民間援助連携室

公益財団法人PHD協会

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

- 企画名：** 神戸情報大学院大学での国際協力NGOの活動についてのオンライン講義
- 企画実施概要：** ①実施内容：神戸情報大学院大学の国際開発協力の授業にて、日本のNGO活動について講義を行う。講義はオンライン、英語にて行う。
②対象者および参加人数：日本人大学院生及び留学生13名

2 出張者氏名

中村 朱里

3 依頼元／主催団体名

神戸情報大学院大学

4 実施日時

令和2年11月5日（木） 17:00～18:00

5 実施場所

神戸情報大学院大学

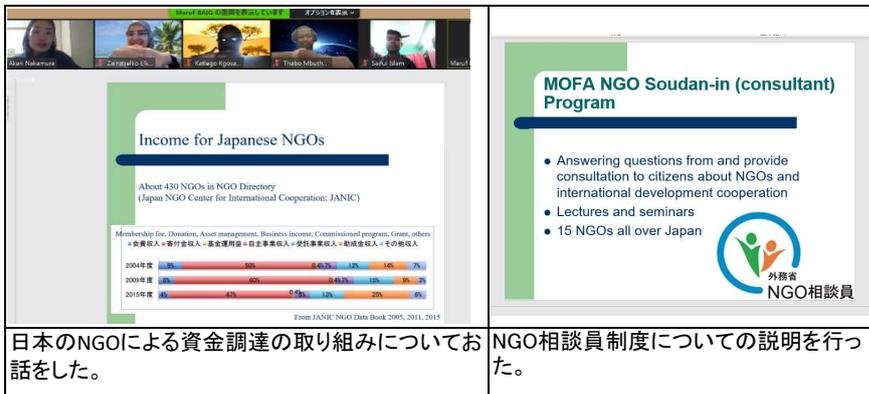
6 実施報告

神戸情報大学院にて国際開発協力について学ぶ大学院生を対象に抗議を行った。講義はオンライン、英語にて実施した。

初めに、相談員がこれまでに関わった日本及び海外のNGOによる国際協力活動についてお話をした。その後、日本のNGOのファンドレイジングの取り組みについてデータを示しながら説明を行った。また、NGO相談員の制度及び外務省とNGOの連携についても紹介を行った。

大学院生の方々の意識は高く、NGOにおけるボランティアの募集方法、資金獲得のポイント、事業評価の方法等について質問があがった。担当講師の方からは、「短時間ではあったがNGOがCOVID-19のような外部要因の影響に対して素早く柔軟に活動を展開していく例が示され興味深かった。来年度も講義をお願いしたい」との感想をいただいた。また日本人大学院生からは、講義を受けたことでボランティア活動に興味を持ったとのことで、後日相談を受け、個別に対応を行った。出張サービスが参加者の具体的なアクションを引き出す例ともなった。

7 写真



日本のNGOによる資金調達の一環としてお話をした。

NGO相談員制度についての説明を行った。

(写真1)

(写真2)

以上

令和2年11月25日

外務省国際協力局民間援助連携室

公益財団法人PHD協会

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名：

Learning by Givingプロジェクト：
兵庫県立小野高校でのNGO活動についての講演

企画実施概要：

①企画内容：日本ファンドレイジング協会の社会貢献教育事業 Learning by Givingプロジェクトの一環として、兵庫県立小野高校にてNGO活動、とくにコロナ禍の中でのNGOの取り組みについて講演を行う。講演はオンラインにて実施する。
②対象者および参加人数：国際経済科3年生 10名

2 出張者氏名

坂西 卓郎

3 依頼元／主催団体名

日本ファンドレイジング協会

4 実施日時

令和2年11月25日（水） 14:00～15:30

5 実施場所

兵庫県立小野高校（兵庫県小野市西本町518番地）オンライン開催

6 実施報告

兵庫県立小野高校の生徒を対象に、コロナ禍における世界の状況及び国際協力NGOの取り組みについてオンライン講演を実施した。コロナ禍の中での活動として、当会が実施するネパールやミャンマーでの緊急食糧支援を例として紹介した。また本企画が「寄付を通じた社会貢献」について学ぶ企画であったため、NGOによって寄付金がどのように活用されるのか、また寄付者層のマーケットを広げていく必要性などについてもお話しし、生徒の方々は熱心に事前学習をされており、コロナ禍の寄付金への影響やオンライン化の可能性、受益者とNGOとの費用負担の割合などについて質問があった。今後、本講演に参加した生徒たちが全校生徒に向けて学びを発表し、募金活動等の具体的な活動にも取り組むとのことである。担当者からは後日、生徒からの質問メールにも対応して欲しいとの要請を受けた。今回の出張サービスは、生徒たちの主体的な学びを深める有意義な機会となったと考えられる。

7 写真



(写真1)

(写真2)

以上

令和3年5月18日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
えひめグローバルネットワーク

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： 愛媛県立西条高等学校

企画実施概要： ①企画内容
西条高校は、2016年に国際文理科を開設してグローバル人材育成に取り組んでおり、今年度は、同校生徒から国際協力・国際貢献に関するさまざまな質問に対して相談対応を実施してきた経緯がある。今回、出張サービスを実施し、世界各国で実践されている国際協力の現状を紹介し、高校生が今できる国際貢献について考え、今後、国際関係の進路選択を考える生徒にとって「NGOで働くこと」がひとつの選択肢となるようオンラインで伝える。
②目的
高校生にNGO・国際協力について理解してもらい、「仕事」としてNGO・国際協力に関わるという興味・関心を引き出すことを目的とする。
③対象者および参加人数
高校1～3年生42名、教員2名

2 出張者氏名 菅未帆

3 依頼元／主催団体名 愛媛県立西条高等学校

4 実施予定日時 令和2年11月11日（水） 16:30～17:30

5 実施場所 愛媛県西条市明屋敷234

6 実施報告
世界各国で実践されている国際協力の現状を紹介し、高校生が今できる国際貢献について考える機会とした。また、今後、国際関係の進路選択を考える生徒にとって「NGOで働くこと」がひとつの選択肢となるよう、外務省の「国際協力とNGO」冊子や小冊子「四国・国際協力団体とODA」を活用し、紹介した。生徒の感想は以下の通り。
①今回、何回か日程変更があったが、参加してリアルにNGOから話を聞くことができて良かった。
②将来、国際協力の分野に進みたいと思っているので、情報収集の仕方がわかったし、何を勉強して準備しておくべきか活動のイメージがつかめた。
③現在、国際関係のニュースはコロナに関するものばかりだが、NGO活動について具体的に生の声が聴けて参考になった。

7 写真



(写真1)

(写真2)

以上

令和3年5月18日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
えひめグローバルネットワーク

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名:

高知県立小津高等学校&PTA国際委員会

企画実施概要:

①企画内容

高知小津高校とPTA国際委員会が連携し、国際協力の動向や異文化に関心を持ってもらおうと、生徒と保護者を対象とした勉強会を企画した。留学生も交えてSDGsについて共に学び、四国のNGOがどのような国際協力活動を展開しているかを紹介する。

②目的

高校生、保護者、留学生とともにSDGs・NGO・国際協力について学び、興味・関心を引き出すこと、身近な国際協力活動への参加につなげていくことを目的とする。

③対象者および参加人数

高校生24名、教員4名、保護者・一般5名、専門学校生7名、合計40名

2 出張者氏名

竹内よし子

3 依頼元/主催団体名

高知県立高知小津高等学校 & PTA国際委員会

4 実施予定日時

令和2年11月7日 (土) 13:00~14:30

5 実施場所

高知県高知市城北町1番14号

6 実施報告

四国のNGO、SDGs、外務省NGO相談員について紹介し、具体的な国際協力事例として高知県内の取り組みで、特に高校生も関わっているラオス支援などを紹介したことで、実践者が身近な存在であることを伝え、自分に何ができるかを考える機会とした。生徒からの感想は以下の通り。

①持続可能な社会へ向けて、いろいろなところで活動が行われていることを知れて良かった。将来の夢へつなげるために、SDGs4番の項目(教育)について深く調べたいと思った。

②NGOの活動を知って、つながりの大切さを同じクラスの友達に話してみようと思う。今、自分にできることは何か考えたい。

③高知商業高校でもラオスに学校を建設しているが、香川でもラオスの教育支援をしていることを知った。もっといろいろ調べたいと思った。

7 写真

	
外務省NGO相談員制度について説明	会場・参加者の様子

(写真1)

(写真2)

以上

2020年11月10日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
NGO福岡ネットワーク

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名:

大野城市立大利中学校 キャリア教育への出張講演

企画実施概要:

①実施内容

大利中学校が実施する、3年生を対象に様々な職業につく社会人を講師に招いて働き方について学ぶ「職業人に学ぶ」へゲスト講師として登壇する。

②目的

国際協力の分野で働くことについての講話を行い、当出張サービスを通して、中学生へ国際協力への関心を持ってもらうだけでなく、将来国際協力に関わるきっかけづくりを行うことを目的とする。

③対象者および参加予定人数

大利中学校3年生 62名

2 出張者氏名

松崎浩平(登壇者)(※企画書記載の原田は別件のため、松崎が対応)

3 依頼元/主催団体名

大野城市立大利中学校

4 実施予定日時

2020年11月10日 (火) 13:50~14:30/14:50~15:30
(40分×2コマ)

5 実施場所

大野城市立大利中学校(福岡県大野城市上大利1丁目6-1)

6 実施報告

大利中学校が実施している職業学習の一貫として国際協力NGOの活動や普段の勤務内容について、授業内で講演を実施。

当日はFUNNの活動や普段の仕事内容だけでなく、登壇した松崎のキャリアステップや仕事に対する想い。また国際協力の基礎知識について、中学生にお話できた。後日頂いた感想文には、将来の職業として国際問題解決に繋がる仕事に就きたいという声や、今回がきっかけとなりNGOの活動や国際協力について興味を持ち普段から意識した生活やできるボランティアを実践したいという声をいただき、NGO全体への関心を持つ良い機会になったと感じる。

7 写真



出張サービスを実施した大利中学校
(授業の写真は撮影NGでした)

(写真1)



後日頂いた生徒さんからのお礼の手紙

(写真2)

以上

2020年11月12日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
NGO福岡ネットワーク

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名: 大分県立大分舞鶴高等学校 貧困問題に関する講演・意見交換会

企画実施概要: ①実施内容
大分舞鶴高校の総合学習(SSH探求交流会)の一貫として世界の貧困問題に関する講演、生徒からの質疑応答をオンラインで実施する。
②対象者および参加人数
大分舞鶴高校2年生32名

2 出張者氏名

松崎浩平(登壇者) / 原田君子(オンライン会議システム運用のためのバックアップ)

3 依頼元/主催団体名

大分県立大分舞鶴高等学校

4 実施予定日時

2020年11月12日 (木) 15:20 ~ 16:10

5 実施場所

大分県立大分舞鶴高等学校 (大分市今津留1-19-1/※Zoomによるオンライン形式)

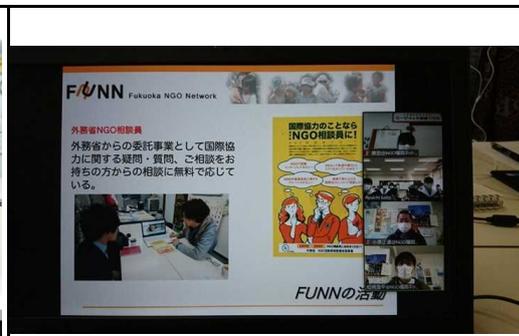
6 実施報告

Zoomを使用して生徒さん32名がいる教室を繋ぎ実施。講演前に事前に生徒さんから世界の貧困問題に関する質問を29ほどいただき、特に質問の多かったアフリカの貧困問題、日本国内の貧困問題、そして子どもの貧困に関する国際問題について解説を行った。講演のあと、質疑応答の時間で先進国に抱える貧困問題についての質問が出たので、登壇者の松崎と当日オンラインサポートで関わった原田が質問の解説を行った。最後に自分たちが課題解決のためにできることを考える時間を設けた。その中で貧困問題を解決させるためには、他の国際問題も同時に解決させるための動きが大切だと解説した。NGO活動や国際協力に関する理解を深めてもらう有意義な機会となった。

7 写真



オンラインで講演を実施している様子



当日の発表スライド

(写真1)

(写真2)

以上